

# 逗子スタイル ～まちなみ景観の見方の提案～

グループ：A  
メンバー：岡本肇 加藤輝之  
岡田恵 篠藤麻木

## ◎「逗子スタイル」とは？

市民への意識調査（※）においては、最も逗子らしさを感じるのは逗子海岸、そして披露山公園、海岸近辺の別荘などがつづきます。しかし、海に連続して連なる三方の山々で綴られた逗子の地形は、関東南部地域では希有な地形であり、逗子の人々とまちなみは、これらの自然資源の四季の移ろいとともに長い年月をかけ育まれてきたのではないかでしょうか？

（※まちづくりに関する市民意識調査（平成12年12月・逗子市）

## ◎私たちのまちなみ景観の見方

私たちの提案では、「逗子スタイル」を求めて、まちなみ景観のもっとも下地になると考えられる三方の山々（桜山、披露山など）と逗子湾という自然資源との組み合わせに注目しました。特に逗子では、これらの自然資源の囲みによってまちなみが他都市と比べコンパクトにまとまっております。「山とまちなみ景観」、「山と川とまちなみ景観」など、それぞれが複雑に調和しながら奏でることによって、皆さんに一体感を持てる「逗子スタイル」は育まれるのではないかでしょうか。このような問題意識を持って私たちは、山や海が見えるこの逗子のまちなみ景観のパターンをいくつかピックアップし、典型例からよりよい「逗子スタイル」を育むための見方とアイデアを、抽象的ではありますが、いくつか提案しました。

## ◎自然資源（山、海、川）と逗子のまちの成り立ち

### image①

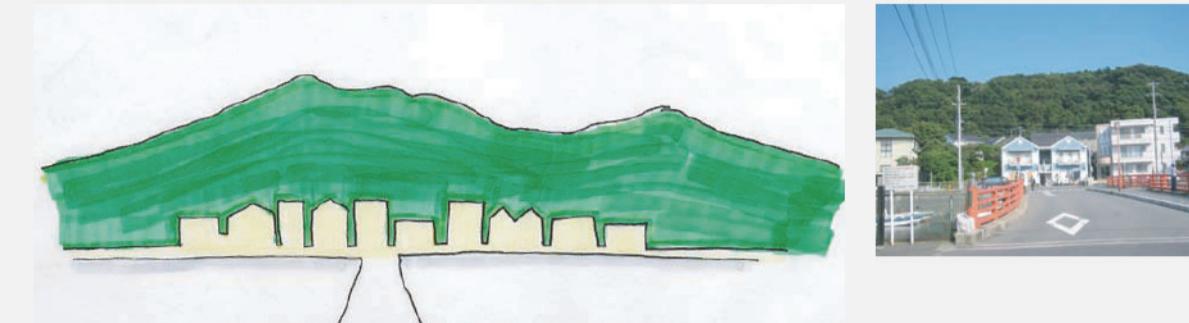


### ■屋敷通り

\*松の木が被る（披露山）



\*山が被る



\*海への抜け



\*建物と路地で山並みが切り取られる（披露山方向）



\*建物のスカイラインと山並みが同じレベル



\*松の木が被る



\*建物と路地で山並みが切り取られる（桜山方向）



### ■シンボルロード

\*佇む空間から見る（東郷橋）



\*わき道から見える



\*海を見る



\*建物の隙間から見える



\*空地・駐車場から見える



## 逗子スタイルを育むための大原則

### ①都市の骨格を大事にする

…屋敷道・シンボルロード・R134 ①直線道路

### ②山並みの眺望を大事にする

### ③コンパクトな逗子湾の景観

…海から見た景観のまとまり

### ④積み重ねられた歴史を大事にする

### ⑤四季のうつろい

…ビーチ・富士山・山の色彩の移ろい

### ⑥界隈性を大事にする

…路地空間

## 私たちが注目する街の成り立ち 特徴

・屋敷道

・シンボルロード

・路地空間

・川沿い空間

・路地空間

・桜山、披露山が正面に見える  
・桜山、披露山が左右に見える

・桜山、披露山が正面に見えた  
り左右に見えたりする

・山と川が一体的に広がって見え  
る

シーケンスを重要視する  
すき間から見える景色を重要  
視する

見え隠れする景色を重視する  
広い範囲の景観との組み合  
わせを重視する

## ◎逗子のまちなみ景観の特徴を私たちなりに分析してみると…

→「迷路のようなまち」と「開放的な視界の広がり」

- ・逗子のまちなみは自然資源（山、海）が全くみえないところと見えるところが大半
- ・まちなみでは開放的な視界の広がりが少ない→自然資源がよく見えない、感じられない！